

## みつがしわ山の会 入会のご案内

「ミツガシワ」は山間の沢や沼などに生えている多年生の水草です。

氷河時代から生き延びてきた<sup>たぐま</sup>逞しさにあやかっ、会の名前にしています。

入会資格は、原則として60歳以上であれば、登山経験の有無は問いません。

ただし、お互いに全盛期を過ぎており、一方、山は時として非常に厳しい様相を呈しますので、次のような方針で運営しています。

1. 年はとっても自分でザックを背負い、自分の足で登るのが原則です。このため、平素から歩くことを心がけ、少なくとも20kmくらいは歩ける脚力を鍛えておいてください。
2. 登山では、他人に迷惑をかけない心構えが大切です。経験の少ない人でも一緒に登りながら、登山の心構えを身につけ、地図を読み、天候を判断しながら、自力で山が歩けるようになってください。（「連れて行ってもらうのではなく、助け合いながら楽しく登る」）
3. 会としての例会山行は、年間10回程度です。
4. 会の性格上、岩壁登はんや厳冬期の積雪登山は計画しません。ただし、無雪期の登山コースにも岩場や雪渓がありますので、基礎的な技術の習得の機会はつくります。
5. 入会して1年を経過すると例会山行の担当幹事を委嘱されますので、例会山行時にはリーダーの役割等も学んでください。
6. 入会後は、登山中の事故に備えて、日本山岳協会山岳共済会の山岳保険に加入していただきます。

以上のことをご理解のうえ入会を希望される方は、入会申込書に所定の事項をご記入のうえ、紹介者（会員に限る）を通じて、事務局（総務担当理事）に提出してください。

### <ミツガシワ（三櫛）>

多年生の水生植物で、水中から1本の茎を立て、その先に3枚の葉を広げます。

葉の形が三ツ柏の紋所に似ているところから、この名前が付けられました。

花期は4月下旬から5月中旬で、蒜山地域の湿地で見られます。

岡山県のレッドデータブックでは「氷河期の遺存植物」として、「準絶滅危惧種」に指定されています。



